

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	姪浜旅客待合所立体駐車場新築工	階数	地上3F
建設地	福岡県福岡市西区愛宕浜3-1-1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年7月 予定	評価の実施日	2017年3月6日
敷地面積	7,685㎡	作成者	セイワパーク緑地園
建築面積	1,172㎡	確認日	-
延床面積	3,506㎡	確認者	-

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 (kg-CO₂/年・m²)

①参照値	92
②建築物の取組み	46
③上記+②以外の	46
④上記+	46

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 2.4

Q1 室内環境: 0.0

Q3 室外環境(敷地内): 1.5

LR1 エネルギー: 4.2

LR2 資源・マテリアル: 2.7

LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

機能性	2.4
耐用性	2.6
対応性	2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.5

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	4.7
地域環境	2.3
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		その他
適合	外周部は開放性のある大臣認定駐車場とし、換気設備等の使用を抑えた設計とした。	特になし
Q1 室内環境	対象外	Q2 サービス性能 外部の鉄骨材はすべて亜鉛メッキ仕上げとし、耐候性に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	対象外	特になし
LR1 エネルギー	必要最小限の照度を確保しつつ、照明数を抑えることに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 壁がない建築物である為、解体が容易に行え、分別も行いやすいよう配慮した。
LR3 敷地外環境	地球温暖化への配慮として設備機器の設置は必要最小限にとどめ、温暖化を抑制するとともに近隣への騒音、振動を制御した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される